

## 新型コロナウイルス に対する市の対応は



吉岡 巖 議員

### 農業、漁業、製造業に 対する支援について

**議員** 新型コロナウイルス感染症の影響下において、農業、漁業、製造業に対する支援を南島原市としてどのような対策を取っておられるか、また考えておられるか。

国はサービス業にだけは十分すぎるような対策を取られるという世間一般の話をよく聞きますが、市としては、どのような対応を取られているか。

**市長** 長崎県の要請を受け、営業時間の短縮要請

に応じた飲食店等へ協力を支給しているが、それらの飲食店等と直接・間接的に取引があった事業者等への支援はなかった。

そのようなことから、市は新型コロナウイルス感染症拡大に係る影響の長期化、あるいは飲食店等の時短営業や不要不急の外出、移動の自粛によって影響を受け、売り上げが減少した市内事業者を支援することにした。要件としては、本年1月または2月の売り上げが対前年比、または対前々年比50%以上減少している事業者に対しては20万円の支援金を支給するもので、経費の負担割合は県2分の1、市2分の1となっている。また、売上高が20%以上、50%未満減少した事業者に対して、市単独で10万円の支援金を支給する。

**議員** 納入業者に関しては、コロナ関係で学校給食等に納入している業者も大変売り上げが落ちて

いると思うが、その点について、市としてどのような考えを持っているのか。

**市長** 農業、漁業を含む市内の全ての業種を対象にした対応を考えて、今議会の皆様方の御理解をいただいてそういう仕組みを行っていく方向である。



## 一つの給食センターで作ったものを市全体の児童生徒に食べさせなければならぬ法律があるか。

**教育長** 法律はない。



小林 知 誠 議員

### 給食センターについて

**議員** 深江の給食センターは、現在も使っている。今後でも使えることを確認したい。

**教育長** 今後でも使えるということではなく、今使えるということで、新給食センターが稼働する、供用開始までは使えるという認識を持っている。

**議員** 深江の給食センターが使えない理由は何か。

**教育長** 使えるか使えないかよりも、1か所で供用開始になれば使わな

ことになる。

**議員** 西有家の給食センターは29年間も使っている。深江のセンターはまだ15年しか使っていない。まだ10年以上は使える。

**教育長** 私どもは議会の了解をいただいたと認識している。

**議員** 深江の住民のアンケートを取った。一つの事業に対して95通の文書回答があった。これまでにこのような生の声が寄せられたことがあるか。

**市長** こういう形で寄せられたことはない。

**議員** 148通のアンケートの中145通が「深江の給食センターから運んでくれ」であった。この要望にどう応えるか。

**市長** 深江のみならずの気持ちを受け止めて、新給食センターで対応していきたい。

**教育長** 南島原市全体の給食のありようを考えて新センター1か所で供用を開始

**議員** 南島原市の児童生徒全てに1か所で作った給食を食べさせなければならぬ法律があるのか。

**教育長** 法律はない。

**議員** 深江の住民は深江の給食センターで地産地消の給食を食べさせたいと願っている。この願いを法的根拠も示せず押しつぶすことは市民の上に市長や教育長を置くことになり許せない。深江の住民の願いをかなえてほしいことを言うて終わる。



深江学校給食センター

